



志津南

10月号 news

志津南ホームページ
https://shizu373.net

志津南学区の人口（8/31 現在）
世帯数 2,531 総人口 6,700 人
前月より + 19 人

発行
志津南学区まちづくり協議会
Tel(fax) 077-563-6206
E-mail shizu373@machikyou.jp

審議を進める理事会の皆さん



志津南学区まちづくり協議会（四方道治会長）は9月7日、まちづくりセンターで第2回理事会を開催しました。負担軽減策第2弾として、令

負担軽減へ 組織のあり方見直し

11月臨時理事会で具体化

和7年度へ向けたまち協事業・組織のあり方改革の方針を審議し、全会一致で承認されました。方針の骨子は、各委員会・団体の事務局機能強化による複数年視点での運営実現と、委員会等の組織見直しによる各町内からの選出委員数削減です。安心安全に直結する環境美化や交通防犯などは、まち協正副会長が直接運営するような委員会組織に刷新、学区全体に関わる課題への対応強化を目指すことなどが盛り込まれています。今後、この方針に基づき具体的な組織体制を検討し、11月2日に開く臨時理事会で、令和7

年度のまち協組織を決めていく予定です。

子どもフェスタお楽しみに

ふれあい推進委員会（馬場正尚委員長）は、「志津南子どもフェスタ」を10月27日（日）ロクハ公園スポーツ広場で開催し



詳しい内容は、10月1日に案内チラシ⇨写真⇨を全戸配布しますのでご覧ください。チラシの下部にパンフレットが取りつけられていますので当日忘れずにお持ちください。楽しい内容にすべく、現在準備を着々と進めています。回を重ね



9月2日草津市でシェイクアウト訓練が実施され、志津南まちづくりセンターも、利用3団

体約40人で参加しました。台風10号接近下の実施で、実災害が起きた場合の混乱をふせぐため、屋外スピーカーは使用せず、FM草津等を利用して訓練に臨みました。放送を合図にシェイクアウト（机の下に身を潜め、頭を守り、しばらくじっとする）1分間を体験しました⇨写真。

訓練に参加することにより、地震の際の安全確保行動「DR OP（低く）、COVER（頭を守る）、HOLD ON（動かない）」を確実に身につけたいものです。いつ発生するかわからない地震の際には、近隣同士声をかけあい助け合おうと共に、こうした自動行動が大切となります。

野菜足りてますか

草津市では、よりよい生活習慣を取り入れ、継続して健康づくりに取り組むことができるよう株式会社平和堂との協働で「ベジチェック・チャレンジ」を開催します。

当日は秋の追分フェスタも開催しており、模擬店の出店なども予定されています。気軽にご参加ください。

センター人事異動

志津南まちづくりセンターでは人事異動が次のように行われます。

▽退職

- 山元優子さん（8月末）
- 下楠美信さん（9月末）

お世話になりました。またお会いする機会もあるかと思えます。よろしく申し上げます。

▽採用

- 川崎勝広さん（9月1日付）
- 中村麻美さん（10月1日付）

知らない事も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思えます。頑張りますのでよろしく申し上げます。

るごとに内容が充実してきているように思います。皆さんお楽しみください。

尚、当日は申し訳ないですが公園の遊具を使用禁止とします。また、近隣の皆さまには何かとご迷惑をお掛け致しますが、ご協力・ご理解いただきますようお願いいたします。

会場には来場者用の駐車場がありません。徒歩または自転車でお越しください。お申し込みは、

ベジチェック測定風景



合計6会場で行われますが、フレンドマーケット追分店では、次

50人に野菜ジュースのプレゼンともあります。

皆で楽しむ手作り夏まつり

夏の思い出を...と、各地域で住民手作りの夏まつりが行われました。楽しい夏の1ページになった事でしょう。

200人超集う



ヨーヨー釣りを楽しむ子ども達

日、追分南三丁目児童遊園と追分南会館で、子ども会と合同の夏まつりを開催しました。

住民自らがスタッフとして運営する縁日コーナーや、多くの事業者にも協力をいただき、200人を超える参加者で楽しむことができました。

当日は雨が心配な天候で、「降らないでくれ!」と祈りを込めて開催決行したものの、開始早々ものすごい雷雨。ちなみに、組長は雨男です。一時は中止もやむなしと覚悟しましたが、どうにか雨も止み、次第に住民ラウンドで夏祭りを開催し、1300人もの人々が参加しました。写真。

江州音頭の大きな輪



追分町内会・追分南町内会連合が8月17日、追分野上グ

昨年実施した花火、スポーツ、縁日に加え、今年はシャボン玉コーナーや駄菓子屋も追加され、多くの親子連れで賑わいました。

ステージ上では生バンドの演奏があり、終盤には江州音頭が流され、会場中央のやぐらを囲んだ盆踊りの輪ができました。

最後は抽選会が行われ、当落に一喜一憂する人々の姿がありました。

も公園を訪れ始め、気が付けば大盛況になっていました。

縁日コーナーには射的や輪投げ、ヨーヨー釣りや光るランタン作りなど、屋台コーナーではビールにかき氷にカレ、協力事業者による店も並びました。

祭り最後の企画は子どももの綱引き大会。「やってみたい!」と希望者が殺到し、全力で綱を引き合う子どもたちの様子に

みんなニッコリ

子育てサークル若草おやこっこクラブ(山出聡子代表)は8月28日、志津南まちづくりセンターで夏祭りを開催し、子ども6人大人4人が参加しました。

アンパンマンの的あて写真にボウリング、魚釣りなどいろいろな催しに笑顔で参加。台風で蒸し暑い日でしたが、汗だくになって楽しめました。いろいろなゲームに挑戦し、



これからも若々しく

会場の皆で盛り上がりました。本日は「大人の部」もやりたかったのですが...

約4カ月前から検討してきた事前準備に当日の運営、翌日の片付けまで、住民皆で協力して自分達の祭りをやりきり、親睦を深めることができました。

夏の楽しい一日として記憶されれば幸いです。



景品のジュースやおやつをたくさんゲット。みんなニッコリ、楽しい夏祭りになりました。

地域サロンかがやきの丘「なごみ会」(浅野謙一代表)は8月22日、町内会館「きり」で、地域保健係保健師の野入悠梨さんと黒川弘子さんを招き、フレイル予防の話を聞きました。話の後、骨密度、血管年齢、血圧、握力の測定を行いました。写真。みなさん年齢よりは若い値が出て大喜び。酷暑の中でしたが、元気に帰宅しました。



倒木に ひやり...

8月30日、若草七丁目ごみステーション上方のりょうぶの

給茶機ご利用ください

9月号でお知らせしていた給茶機が8月29日、志津南まちづ



くりセンターサロンに設置されました。写真。

熱中症対策を主な目的としており、施設利用の方など、どなたでもご利用いただけます。有効活用にご理解とご協力をお願いします。

道斜面で倒木が発見され、対応処理が行われました。ゆっくりと北上していた台風10号の強風の影響で、斜面の枯れた木が倒れたようです。折れてぶら下がり、高い斜面の上から道路や家屋の方へ落ちそうで危険な状態でした。写真。連絡を受けた環境委員や町内会長が連絡を取り合い対応に当たりました。公園緑地課へ連絡後、迅速に木は伐採されました。

今月の志津南文庫

渋沢栄一の足跡をたどる旅 制作委員会

少し涼しくなり旅行を考える時、新1万円札の渋沢栄一ゆかりの地にも立ち寄ってみてください。



- 52 ヘルツのクジラたち 町田そのこ
- 清浄島 河崎秋子
- 君が残した贈りもの 藤本ひとみ
- 大きな約束 椎名誠
- 777 伊坂幸太郎
- 緋色のマドンナ 那須田淳
- 老いの福袋 樋口恵子



レイクス選手あいさつ運動に

登校児童に声をかけるレイクス選手



レイクス選手は、登校して来る児童にひととき元気な声をかけておられました。子ども達は、選手の突然の訪問に戸惑いつつも、これから始まる2学期にエールを送られたようで、うれしそうでした。

滋賀県のプロバスケットボールチーム、滋賀レイクスの大庭圭太郎選手が8月26日朝、2学期の始業式を迎えた志津南小学校の校門に立ち、朝のあいさつ運動に参加してくださいました。

これは滋賀レイクスのホームタウン活動の一環として、市内の市立小学校10校を対象に実施します。



めずらしいかぼちゃを見つけました。
ピンク色のようにも見える濃い緑色のゴツゴツとした感じを出すのに苦労しました。
(つぐしの会)

▽対象試合

11月6日(水) 19時5分

VS佐賀バルナーズ

▽会場 滋賀ダイハツアリーナ

▽募集期間 10月31日(木)

23時59分まで

中学2年生「働く」を体験

職場体験で働く中学2年生



高穂中学校(藤井泰三校長)2年生が8月28日~9月4日、「たかほ学(生き方学習)」の一環として、職場体験学習を行いました。

詳しくは案内チラシが、志津南学区に全戸配布されますので、ご確認ください。チラシ掲載のQRコードから申し込みが可能で、抽選のうえ200人が招待されます。



学年を前後半に分けてそれぞれ3日間、約70事業所の協力を得て、貴重な経験を積みました。地域のスーパーや郵便局、ごども園など様々な場所で、働く中学生の様子を見てくださった方も多いのではないのでしょうか。

参加した生徒は「3日間だったけれどとても疲れた」「大変だったけれど楽しかった」「もう少し続けたい」など、短い時間の中でも働くことの苦労や喜びを感じたようでした。

学校をきれいに

志津南小PTA



除草作業をする参加者

った職種を含む、複数の講師を招いて、それぞれの生き方に触れる機会を持ち、自身のキャリアプランについて、考える学習を続ける予定です。

志津南小学校PTA(服部聖子会長)は9月7日、小学校の環境整備を行いました。連日熱中症指数が嚴重警戒値を示す残暑の中、保護者と教員合わせて

草津中 地域の魅力取材に来館



草津中学校(山内健嗣校長)3年生4人が8月30日、「草津市観光MAP&ツアー」の制作に関わる現地取材のために、志津南まちづくりセンターに来館しました。写真。

「草津市未来化計画」ずっと草津」をテーマに、生徒たちが草津市内のエリアを分担し、ターゲットを絞り、その地域の魅力を取材、発見、発信、そしてまとめタク・まめバスの利用者

の新規獲得の一助となるようにということと志津南へ取材に来てくださいました。ほぼ住宅街であり、商業地域でもなく、神社仏閣もなく、歴史的にも新しい学区(地域)ではあります。緑の多いこの地域に住み、元気に活動されている皆さんの姿には驚いていました。きつと何かは感じてくれたのではないかと思います。

若草環境パワー(大橋稔代表)旧称志津南環境美化ボランティアの会)が8月22日、志津南小学校校門付近の整備作業を実施しました。写真。

夏休みも終盤を迎えたこの日、メンバーは校門前に集合し、2学期も気持ち良く通学できるようにと、草木の剪定・花壇の除草などを行いました。





食事や会話を楽しむ学級生たち

にぎやかに納涼まつり

志津南まちづくりセンター「やすらぎ学級」は、8月25日「ミニ納涼まつり」を実施しました。

昨年に続き、会議室やサロンを夏祭り仕様に飾り付け、ひとときのまつりの雰囲気や交流を楽しみました。

学級生にはおなじみの「タンデライオン」の皆さんによる大正琴とオカリナの演奏で始まりまし

た。大正琴の持つしとやかなイメージよりもパワフルで、さまざまに工夫されたアレンジによる楽曲披露。共に歌うコーナー。さらにアンコールでは「マツケンサンバ」も飛び出し、賑やかで豊かな時間を過ごしました。

公開講座のお知らせ

「やすらぎ学級」は、次の要領で、「草津おはなし研究会」の皆さんを招き、「お話し会」を公開講座で実施します。
▽日時 10月30日(水) 13時30分

▽場所 センター会議室

コンサートの後、じゃんけんゲームを行い、会場は笑いに包まれました。
今年は、草津産環境こだわり米を使用したおにぎり作りなど、やすらぎ学級の運営委員や学級委員が模擬店準備や対応にあたりました。手作りのおにぎりは大好評でした。

「草津おはなし研究会」は、「第53回全国優良読書グループ表彰」を受賞した、創設44年の団体で、これまで志津南アンサンブルパワー主催のお話し会でも大好評でした。ご期待ください。

赤い羽根募金



赤い羽根共同募金運動が10月1日から全国一斉に始まります。今年も昨年同様、10月27日の子どもフェスタ、11月10日の「絆」チャリティバザーで募金活動を行います。また、若草郵便局・まちづくりセンター・ふれあいハウス「絆」に募金箱を設置します。

志津南いきいきクラブ

現在当学区で活動中の地域サロンの紹介②回目です。



地域サロンのご紹介 ②

募金」の一部と合わせて学区社協へも配分され、地域ふれあい活動や高齢者支援活動子どもたちの支援活動に有効活用されます。

パソコンの駅
▽パソコンについての相談
▽10月25日(金)
11月26日(火)
13時～16時

移動し、ボランティアさんの紙芝居を楽しみます。写真。
地域の高齢者であれば誰でも参加できます。皆さんの笑顔との出会いが楽しみです。

お茶の間



例年、皆様には町内会を通じて募金に協力いただき、ありがとうございます。更なるご協力をよろしく願っています。
寄せられた「一般募金」は主に市内および県内の地域福祉活動の推進に使われるほか、年末に実施される「歳末たすけあい



お茶の間は、毎週金曜日、若草第5集会所で開いています。集い、喫茶を楽しみながら話題豊富なおしゃべりに花を咲かせると笑顔がこぼれます。写真。年に1～2回、健康講座や、演奏者をお呼びして演奏や合唱を楽しむなどのイベントを開催しています。
地域の高齢者であればどなたでも気軽に参加できます。

「絆」チャリティバザー

ふれあいハウス「絆」は、次の要領で第11回「チャリティバザー」を実施します。

▽日時 11月10日(日) 10時～14時

(無くなり次第終了)

▽場所 ふれあいハウス「絆」及び隣接の児童遊園

(雨天の場合は室内)

ご協力いただける品があれば、次の期間内にふれあいハウス「絆」までご持参ください。

▽受け付け期間

10月28日(月)～

11月7日(木)

10時～16時

▽陶器・日用雑貨・タオル・食品(缶詰、嗜好品、ジュース、ビール等)・手作り品・衣類(未使用のもの)

▽問い合わせ先

ふれあいハウス「絆」

(507)9407

バザー売り上げ金は、日本赤十字社を通じて災害被災地へ義援金として届けます。

◇

また「絆」では、フードバンク事業(食料銀行)にも協力しています。まだ食べることできるにも関わらず、眠ったままになっていたり、廃棄されてし